

図書館員のおすすめ本

小学生

低学年（1・2年生向け）

『おすしがふくをかいにきた』

田中 達也 作／白泉社



【内容紹介】

マグロのおすしがお店に服を買いにきた！たくさんあるすしネタから、何に変身するのでしょうか？シュウマイやソーセージたちも、見たことのないお店ばかりの仮想の街でお買い物を楽しみます。

【図書館員からのコメント】

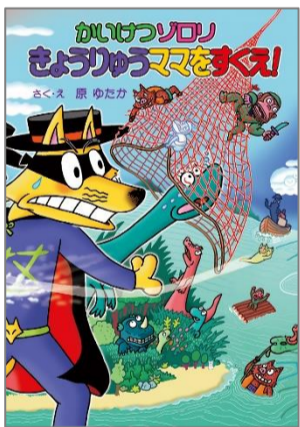
タイトルからしてどんな本なのだろうと、読む前からわくわくします。細かいところまで見ると、いろいろな発見があって家族みんなで楽しむのもおすすめです。写真を見るだけでも楽しい絵本です。

中学年（3・4年生向け）

『かいけつゾロリ きょうりゅうママをすくえ！』

かいけつゾロリシリーズ72

原 ゆたか 作・絵、原 京子 協力／ポプラ社



【内容紹介】

きょうりゅうのママをつかまえようと、なぞのしゅうだんがあらわれた！ゾロリたちはにんじゃのさる丸・ゴリ丸、にんじゃぐんだん、きょうりゅうかぞくときょうりよくして、ママをまもるためのとんでもない大さくせんをおもいつく。はたしてうまくいくのか……。

【図書館員からのコメント】

ゾロリとその仲間がきょうりゅうのママを助けに行くお話です。どんな作戦で助けるのかワクワクすること間違いなし。団結してがんばるゾロリ達を応援しましょう。

高学年（5・6年生向け）

『ウソみただけど実在する！』

世界のめっちゃスゴい国』

出版：©JTB パブリッシング



【内容紹介】

国土がないのに国として認識されている、女の人一人もいない国、ウソみただけど実在する国が載っている本です。「えっ？」と思うような内容や「こんな文化があるんだ」と知っている国をさらに知ることができます。

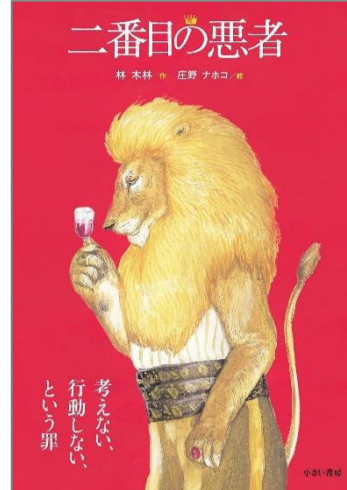
【図書館員からのコメント】

各ページにわかりやすく楽しいイラストや写真が添えられているので文章だけではなく、絵を見て理解できるのでとても分かりやすいです。また漢字にふりがながあるので、学校でまだ習っていない漢字でも読むことができます。

中学生

『大型判 二番目の悪者』

林 木林 作、庄野 ナホコ 絵／小さい書房



【内容紹介】

「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」
王様になりたい金色のライオン。でも、町のみんなは人のために行動するやさしい銀色のライオンが次の王様にふさわしいと言う。金色のライオンはそんな銀色のライオンに嫉妬して嘘の噂を流し始めた。その噂が少しずつ町に広がっていき……。

【図書館員からのコメント】

SNSなどで知り得た情報に嘘はないか、悪気なく話している話題は本当のことなのか。自分で判断しなくてはいけない場面は日常生活でも多く存在します。噂を鵜呑みにするのではなく、適切に判断して自分で考える力の重要性が描かれている本です。

『10代からのメンタルケア』

「みんなと違う自分」を大切にする方法』

本田 秀夫 著／KADOKAWA



【内容紹介】

自分の特性に悩む10代のための、読むメンタルケア。

発達を専門とする精神科医・本田秀夫氏による、10代から知っておきたい人生のヒント集。

「先生の話に集中できない」「友達と話が合わない」「自分のペースを大事にしたい」…自分の特性に悩む人の特徴をおさえ、対処法をまとめました。

文章だけではなくマンガと図を組み合わせで解説しているので、気が向いたところから気軽に読むことができます。また、漢字にはすべてフリガナを振っています。

子どもの気持ちを理解したい保護者、教育関係者、支援者にもぜひ手に取ってほしい1冊です。

【図書館員からのコメント】

悩んだり、モヤモヤした時にヒントになる本。読んで気持ちをスッキリさせましょう。

『平安女子の楽しい！生活』

川村 裕子 著／岩波書店



【内容紹介】

現代の女子のように、おしゃれや恋、占いなどを楽しみ、悩んでいた平安女子たち。そんな彼女たちのライフスタイルを、インテリア&ファッション、ラブ、ライフの3つに分け、解説。楽しく古典常識を身につけられる本です。

【図書館員からのコメント】

源氏物語や枕草子、蜻蛉日記などを引用し、平安時代の女性がどのように過ごしていたのかをわかりやすく紹介しています。挿絵も豊富でイメージしやすく、古典に興味のない人でも楽しく読める一冊だと思います。